

令和 6 年 10 月 28 日

守山市 記者提供 資料

担当部署	都市計画・交通政策課
担当者	大崎(純)、福谷
電話	077-582-1132
FAX	077-582-6947

JR 守山駅西口で社会実験を行います ～渋滞緩和に向けた中央横断歩道（緑地公園側）の一時的な撤去～

昭和 48 年に JR 守山駅西口が現在の位置になってから、JR 守山駅西口ロータリー（以下「ロータリー」という。）の面積に大きな変更がないなか、市の人口は右肩上がりに増えており、それに伴い駅利用者も増えていることから、JR 守山駅西口では、特に降雨時の通勤通学時間帯の渋滞が課題となっています。

渋滞の要因としては、ロータリーが狭小であることをはじめ、さまざまな要因が考えられるなか、その中の 1 つであるロータリー内の中央横断歩道（緑地公園側）を一時的に撤去し、その影響を検証する社会実験を実施します。

●目的

「中央横断歩道（緑地公園側）※下図参照」の歩行者待ちによりバスやタクシーが前進できないことで後続車にも影響し、駅前交差点にまで渋滞が伸びている状況のなか、当該横断歩道を一時的に撤去することによる渋滞対策としての効果や安全性等の検証を行うもの。

●実施期間（予定）

令和 6 年 11 月 18 日（月）から 12 月 16 日（月）まで

●準備工事等

- 社会実験開始前に以下の工事を実施し、社会実験終了後には現状復旧します。
 - 対象横断歩道と停止線をマスキングにより仮撤去
 - 横断歩道両端にバリケードを設置
- 安全対策として、周辺に音声案内機を設置するとともに、付近の点字ブロックの位置を点字ブロックマットにより調整します。また、実験開始後の一定期間は、誘導員を配置します。

●調査方法

ロータリー内および駅前交差点付近の各箇所に調査員を配置し、歩行者通行量や車両渋滞長および滞留長、信号待ち歩行者量等を計測



歩行者待ちのバスの様子

●その他

- ・実験期間中は、終日、対象横断歩道の利用ができません。
(乗降場所は、通常通り利用可能です。)
- ・車両の通行については、影響はありません。
- ・ロータリー内の各機能の配置や有効面積拡大等の検討は別途行います。



社会実験中の歩行者導線イメージ図